



エクスタロット ルールブック



015 ピラミッドテリング
(Pyramid telling)

米光一成

ゲーム名：ピラミッドテリング (Pyramid telling)

バージョン： v1.01

考案者：米光一成

受付日：2017年 11月 18日 (v1.00)

2017年 11月 20日 (v1.01)

概要：タロットを使ったゲームと占いのソリティア (一人遊び)

人数：1人

使用カード：0から23の大アルカナ24枚

プレイ：ピラミッド状に並べたカードと手札から秘数の概念でマッチしたものを除去していき、無くなれば上がりであるが、残った場合はそのカードが運勢を暗示する

参照ルール：ピラミッド等のソリティアゲーム

ピラミッドテリング (Pyramid telling)

短時間かつ簡単にできるソリティア（一人遊びゲーム）です。
明日を占うこともできるので、就寝前に軽く遊んでみてください。

準備

ピラミッドと成果と手札の3つの場を使います。

0から23の24枚の大アルカナ(以下、カード)をよくシャッフルします。
21枚のカードを伏せた状態でピラミッド型に並べます。
このとき、下の段は上の段に少しだけ重なるように置きます。
最下段の6枚をめくって表向きにします。

(写真 カードの配置例)

残った3枚は手札にします。
手札3枚はいつでも使えます。



プレイ

表向きのカードと手札を使って、2枚以上の組を作ります。

組は以下の法則で作ってください。

1 : 同じ数のカード 2枚以上

2 : 続き数字 2枚以上

ただし、カードの数字は、そのままの数字で使ってもいいし、秘数（各桁の和）を使ってもいい。

〔秘数の計算例：15のカードは15もしくは $6(1+5)$ として扱う。19のカードは19もしくは $10(1+9)$ もしくは $1(1+9=10 \rightarrow 1+0=1)$ として扱う〕

たとえば、写真の例であれば、まず以下の組み合わせでカードを組にすることができます。

1と10と19、23と4、23と5、もしくは4と5。

組を作ったカードは、成果の場に置きます。

ピラミッドのカードは、上に重なっている部分がなくなった場合、表にします。

ピラミッドと手札のカードをすべて成果の場に移すとグランドクリアです。

もし、これ以上成果の場に移すことができなくなった場合は、残ったカードで表になっているもの、もしくは残っている手札が、あなたの明日を暗示しています。

ルール募集

エクスタロットを使ったゲームのルールを募集しています。応募のあったルールは、エクスタロットのプレイに適しているか審査され、考案者の氏名、受付の日付とともに pdf で公開されます。考案者は、すでに掲載されたルールを修正・改良することもできます。ルールの申請方法は、エクスタロット・ゲーム情報サイト(<http://xtarot.jp/>)をご覧ください。

エクスタロットは、友達とプレイしながら、ルールを面白く改良していくことを目標にしています。そのため、ハード（カード）とソフト（ルール）を分けています。エクスタロット・ゲーム情報サイトでは、最新のルールやカードの情報を紹介しています。

ピラミッドテリング (Pyramid telling)

著者 米光一成

2017年11月21日発行 v1.01

発行者 有限会社銀河企画 (GPI.JP)

©2017 米光一成／有限会社銀河企画